

新年のご挨拶 一人々の多様性を認め合う共生社会の実現を目指してー

理事長 小山望（埼玉学園大学大学院心理学研究科教授）



新年あけましておめでとうございます。昨年の第24回全国大会の総会で理事長に承認されました小山望です。今期で3期目を迎え、本学会の抱える課題を解決すべく身を引き締めて取り組む決意であります。

本学会は社会における人間関係のあり方を研究し、多様性を認め合い、人々との良好な人間関係を作る実践活動をしています。人々の多様性に寛容な共生社会（ソーシャル・インクルージョン）の実現に向け、研究と実践を重ねている学術団体です。

最近の課題としては、①学会の社団法人化②第25周年の記念事業③人間関係士の資格の普及④財政の安定化⑤会員数の拡大⑥理事会のメンバーの若返りと女性理事の増員などです。

① 社団法人化については、昨年の総会で承認され現在準備を進めています。

② 25周年記念事業として「人間関係ハンドブック」を刊行します。現在初校が終

わり出版準備中です。また、全国大会での記念事業なども考えております。

③ 人間関係士の普及については、来年度中には「初級人間関係士」をスタートさせる構えです。この資格は、短大生、大学生及び一般社会人を対象とし、学会員以外の方でも資格を取ることができます。大学などで所定の単位を取ることや、研修会で受講することにより資格取得できる制度を考えております。

④ 財政の安定化については、人間関係士の普及による登録料収入と、会員数拡大による会費等の収入の増大を図ることです。

⑤ 会員数の拡大については、最近是新入会員数が退会会員数を上回り、会員数の減少に歯止めがかかりました。退会の主な理由は会員の高齢化にあり、退職をきっかけに退会する方が多いようです。本学会も創立25年を迎え、当時中心的な役割を果たしていた会員の皆様も60代後半から70代前半になっておられますので、後に続く世代として、学会活動の継続と発展のために鋭意努力していく所存です。

⑥ 理事会メンバーの若返りについても、昨年の総会で、理事会メンバーの若返りと女性理事の増員という提案について承認いただき、その後30代、40代及び50代の理事が大半を占めるようになりました。引き続き、本学会を若い世代に引き継ぐことが小職に与えられた責務と肝に銘じ、学会の事業運営にあたって参ります。今後とも皆様の一層のご支援をお願いいたします。

末筆ながら、会員の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2017年1月吉日